

NSG グループ

2026年3月期 第2四半期決算報告

(2025年4月1日～ 2025年9月30日)

日本板硝子株式会社
2025年11月6日

目次

1. 2026年3月期 第2四半期決算概要
2. 2026年3月期 業績予想
3. 米国関税政策の影響
4. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」の進捗状況
5. まとめ

1. 2026年3月期 第2四半期決算概要

連結損益計算書

欧州建築用ガラス事業の改善により、営業利益は業績予想を上回り着地。
引き続き利益改善のためのあらゆる施策を推進

(億円)	7-9月期 (3か月)			累計 (6か月)			上期 業績予想
	2025年 3月期	2026年 3月期	差異	2025年 3月期	2026年 3月期	差異	
売上高	2,060	2,106	45	4,224	4,208	△ 17	4,200
営業利益	55	51	△ 4	102	120	18	100
営業利益率	2.7%	2.4%	△ 0.3 pt	2.4%	2.9%	+0.5pt	2.4%
個別開示項目 (純額)	△ 2	△ 22	△ 20	△ 0	△ 6	△ 5	10
個別開示項目後営業利益	53	29	△ 24	102	114	12	110
金融費用 (純額)	△ 66	△ 68	△ 2	△ 126	△ 135	△ 10	△ 130
持分法による投資利益	14	16	1	25	29	4	30
持分法投資に関する その他の利益 (△損失)	-	△ 0	△ 0	-	△ 4	△ 4	-
税引前利益 (△損失)	1	△ 23	△ 24	2	4	2	10
当期利益 (△損失)	△ 61	△ 38	22	△ 34	△ 34	0	△ 20
純利益 (△損失)*	△ 63	△ 41	22	△ 39	△ 42	△ 4	△ 30
EBITDA	175	183	7	350	381	31	

売上高・営業利益

売上高は若干の減収となったが、
営業利益は主に欧州の建築用ガラス事業で改善が見られたため増益

【売上高および営業利益 (事業別) : 前年同期比】

(億円)	売上高	営業利益
建築用	△ 23	+ 52
自動車用	+ 39	+ 0
高機能	△ 31	△ 16
その他	△ 2	△ 18
グループ全体	△ 17	+ 18

個別開示項目 (純額)

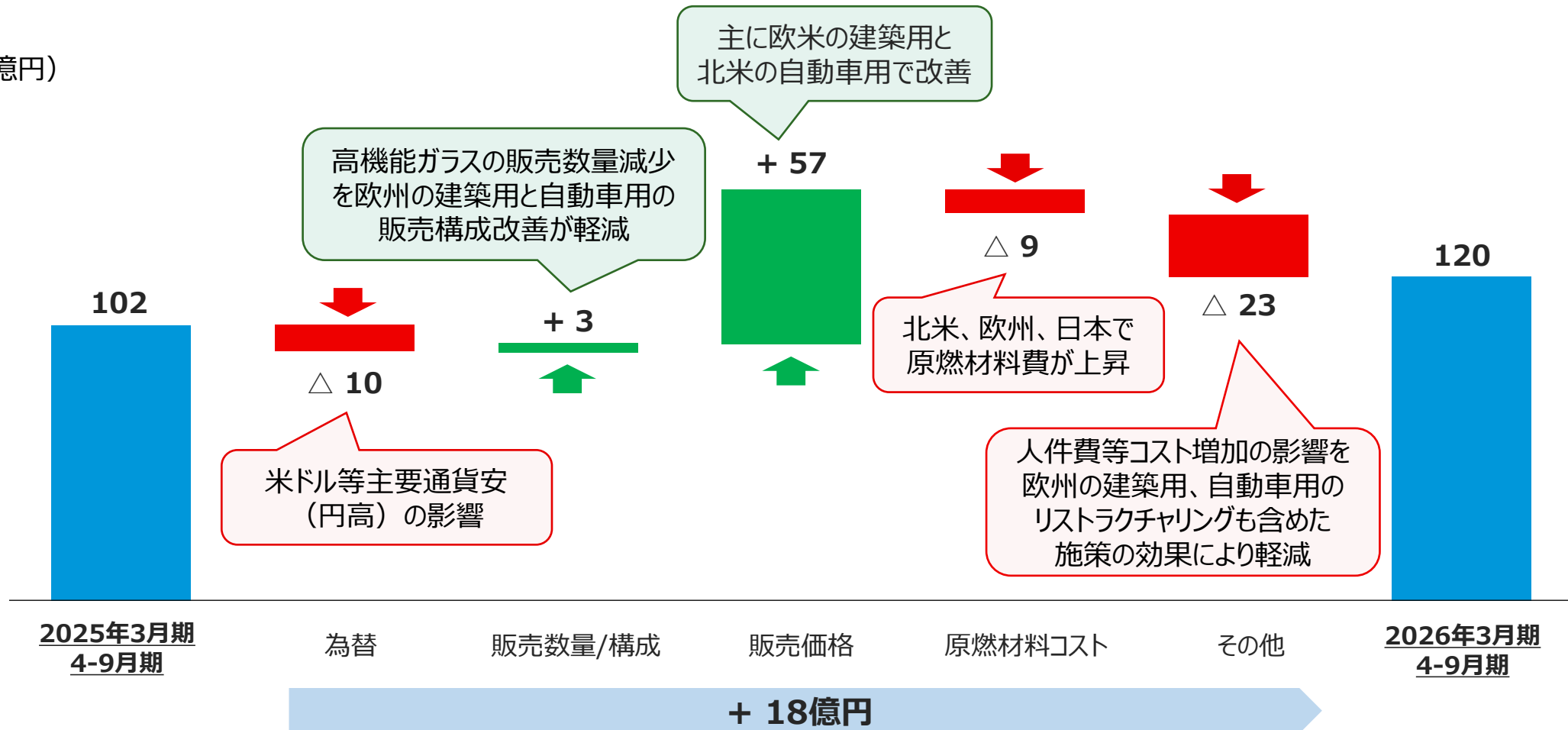
主にベトナムフロートガラス社の持分譲渡益
(2025年6月9日公表) および英国債売却に伴う
損失を計上

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△損失)

営業利益差異分析 (4-9月期累計)

主に欧州の建築用ガラス事業で、販売価格が改善。
人件費等コスト増加の影響を欧州のフロート窯停止も含めたコスト改善により軽減

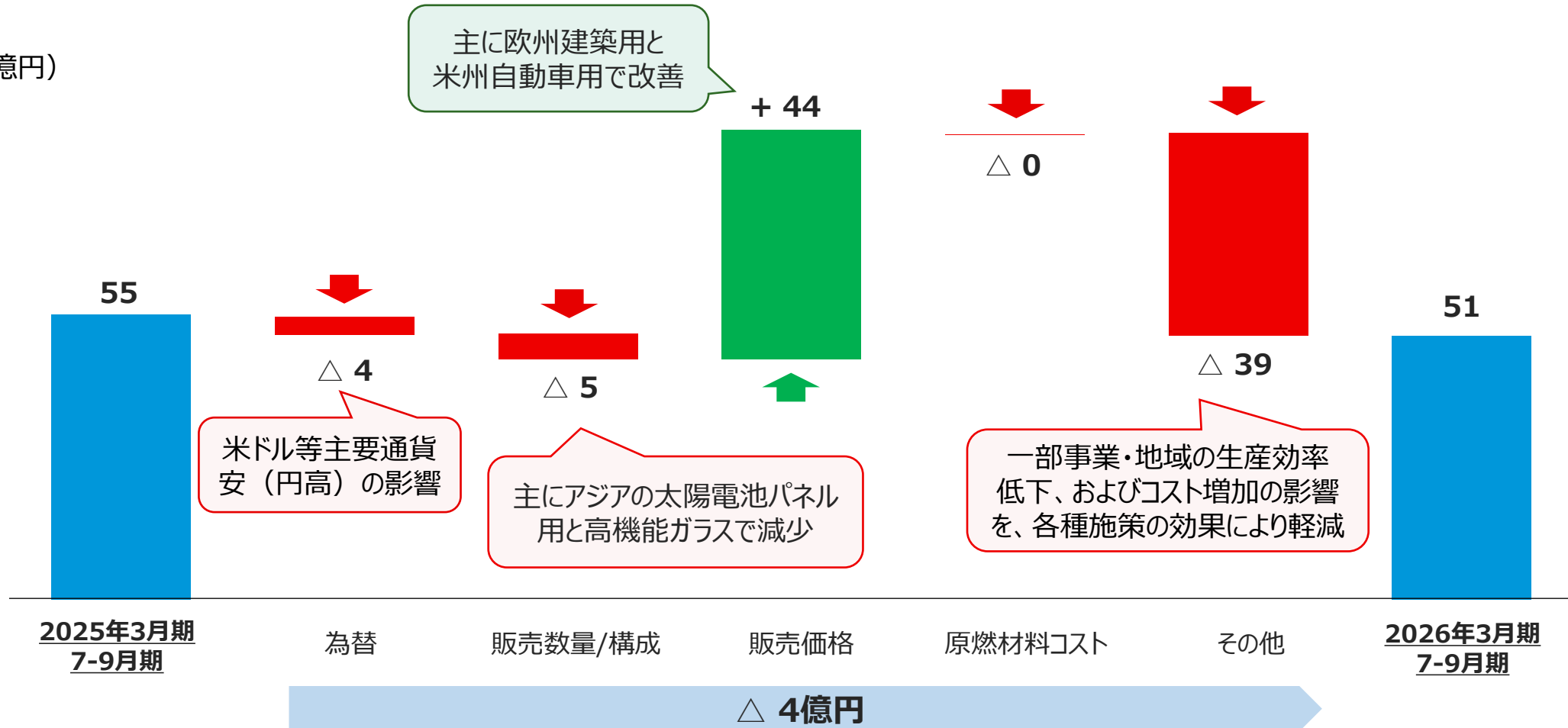
(億円)



営業利益差異分析 (7-9月期)

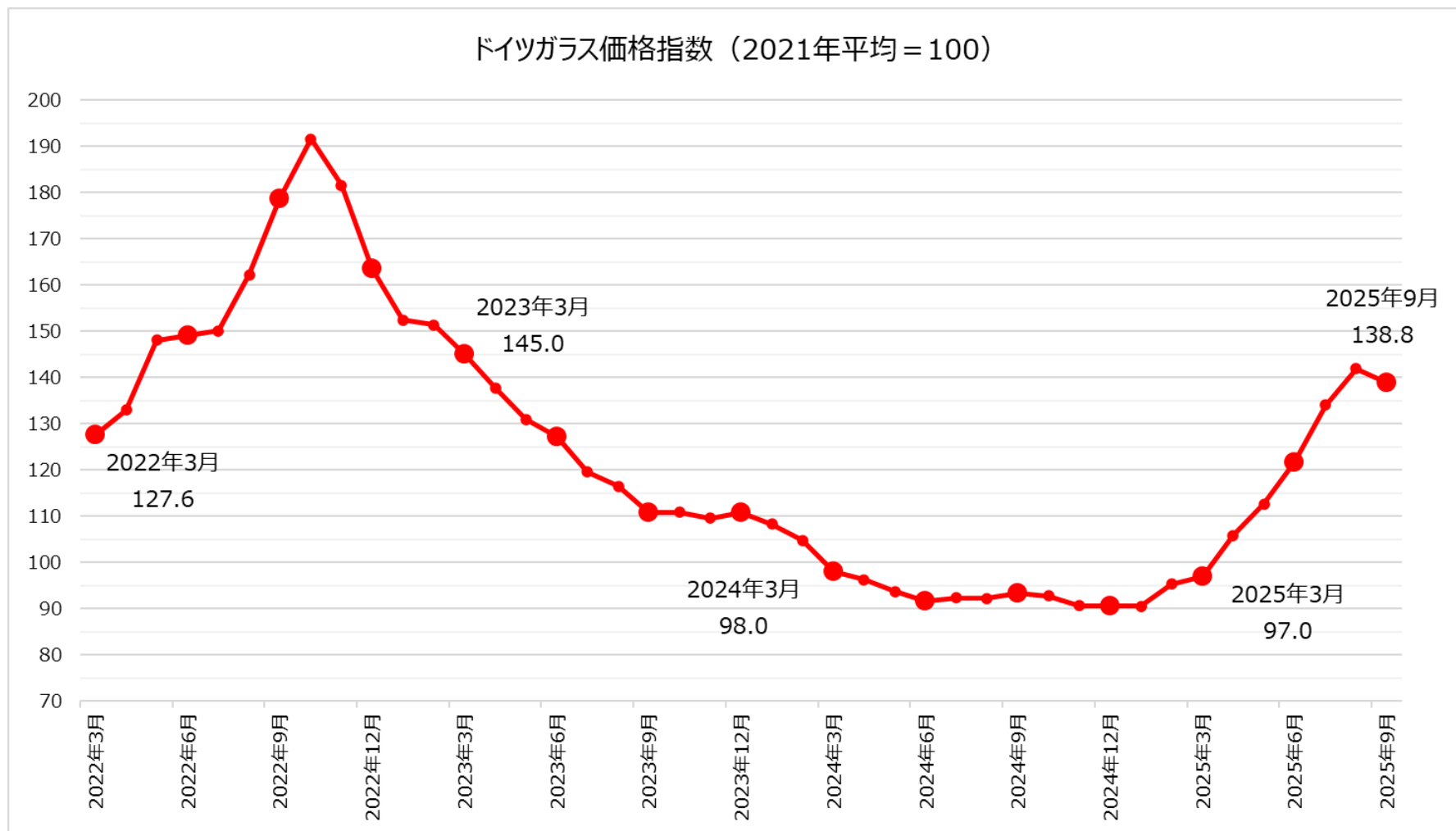
主に欧州の建築用ガラス事業と米州の自動車用ガラス事業で、販売価格が改善。
各種施策の効果によるコスト改善も寄与するが、一部事業・地域の生産効率低下の影響を受ける

(億円)



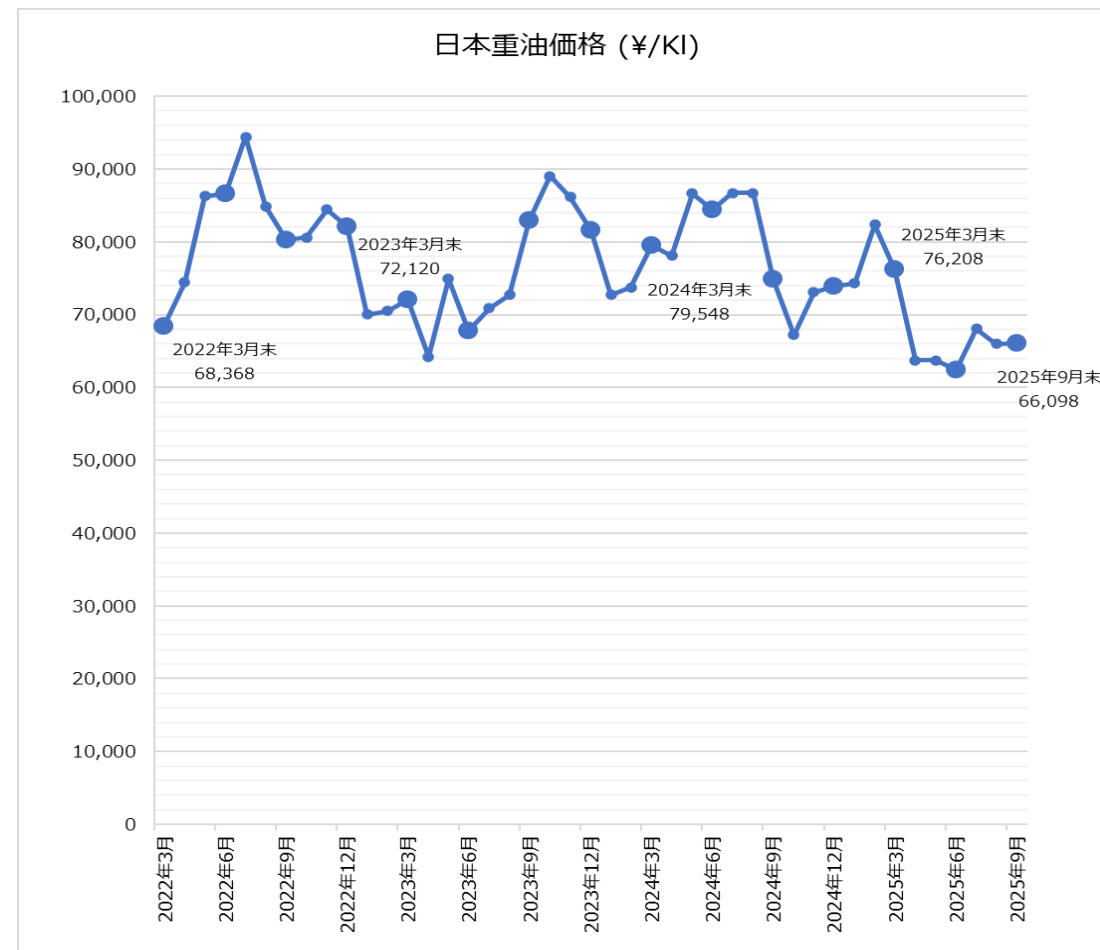
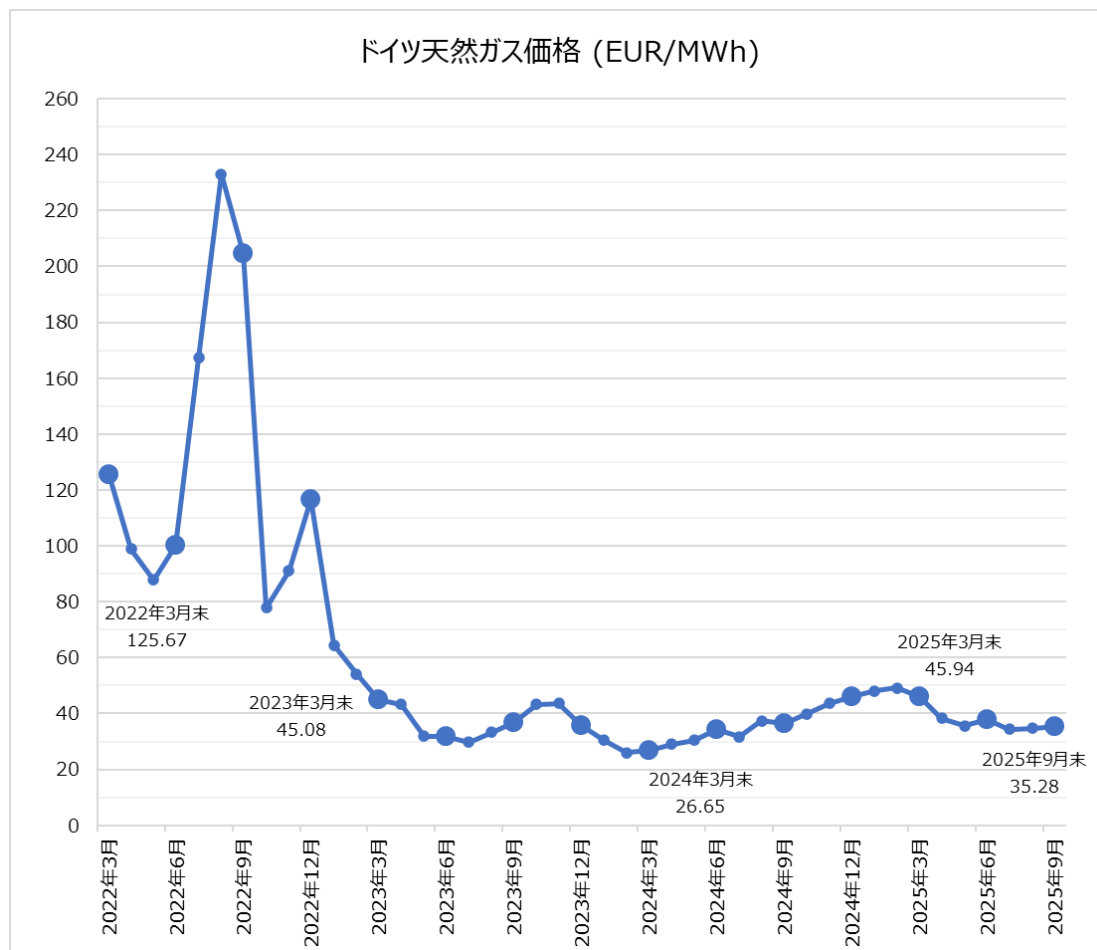
欧州ガラス価格の推移

フロート窯停止に伴う需給改善を反映し、引き続きガラス価格は上昇傾向



エネルギー価格の推移

欧州天然ガス価格は小幅な値動きで安定して推移。
日本の重油は依然高値圏で推移



連結貸借対照表

自己資本比率は10.4%と前期末並み。
有利子負債は主に運転資本の季節的な変動と為替影響により若干増加

(億円)	2025年 3月末	2025年 9月末	増減
資産合計	10,329	10,199	△ 131
非流動資産	7,098	7,128	31
流動資産	3,232	3,070	△ 161
負債合計	8,905	8,855	△ 50
流動負債	4,094	3,939	△ 156
非流動負債	4,811	4,917	106
資本合計	1,424	1,344	△ 81
親会社の所有者に帰属する持分	1,081	1,061	△ 20
自己資本比率 (%)	10.5%	10.4%	△ 0.1pt
有利子負債	5,248	5,379	131

流動資産
主に現金および現金同等物の減少

流動負債
主に仕入債務およびその他の債務の減少

自己資本比率
前期末並みの10.4%。
主に為替の影響により低下したが、アルゼンチンにおける超インフレ調整で一部軽減

有利子負債
主に運転資本の季節的な変動と為替影響により増加

連結キャッシュ・フロー計算書

フリー・キャッシュ・フローは運転資本の季節的変動に伴いマイナスながら、前年同期比で改善。
7-9月期はプラスであり、引き続きフリー・キャッシュ・フローの改善により有利子負債の削減を目指す

(億円)	7-9月期（3か月）			4-9月期累計（6か月）		
	2025年 3月期	2026年 3月期	差異	2025年 3月期	2026年 3月期	差異
営業活動によるキャッシュ・フロー	156	125	△ 30	△ 38	△ 24	14
（うち、運転資本の増減）	125	48	△ 78	△ 167	△ 221	△ 54
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 125	△ 57	68	△ 248	△ 171	77
（うち、有形固定資産の取得）	△ 117	△ 97	20	△ 235	△ 229	7
フリー・キャッシュ・フロー	30	69	38	△ 286	△ 196	91
財務活動によるキャッシュ・フロー	88	△ 14	△ 103	311	△ 28	△ 339
現金及び現金同等物の増減	119	54	△ 65	25	△ 224	△ 249
現金及び現金同等物 期末残高				460	409	△ 51

営業活動によるキャッシュ・フロー
営業増益もあり、累計では前年同期比で改善

投資活動によるキャッシュ・フロー
主にベトナムフロートグラス社の持分譲渡に伴う収入により前年同期比で改善

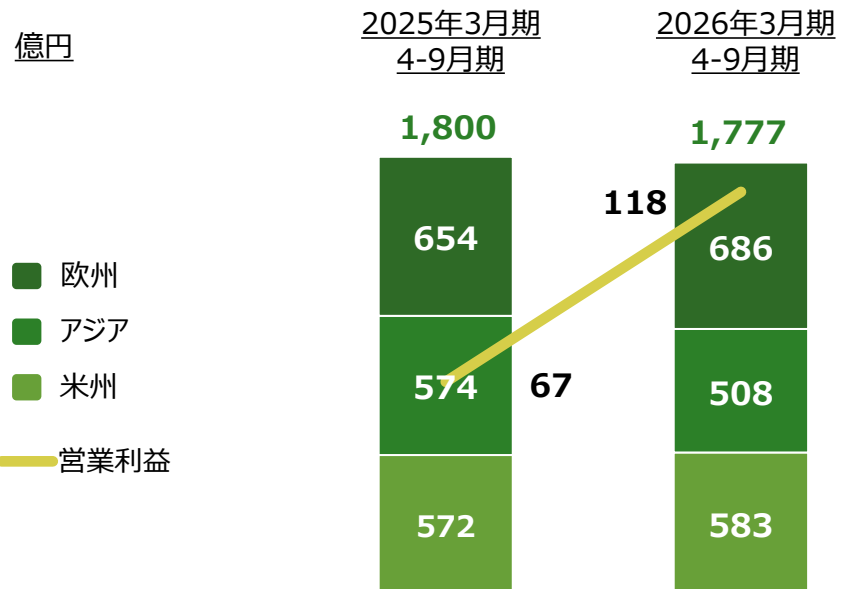
フリー・キャッシュ・フロー
7-9月期はプラス。累計では、営業活動によるキャッシュ・フローおよび投資活動によるキャッシュ・フローの改善により、前年同期比で改善

セグメント情報

(億円)	2024年3月期 4-9月期			2025年3月期 4-9月期			2026年3月期 4-9月期			増減	
	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	%	営業利益	売上高	営業利益
建築用ガラス事業	1,929	46%	218	1,800	43%	67	1,777	42%	118	△ 23	52
欧州	735	17%		654	15%		686	16%		32	
アジア	548	13%		574	14%		508	12%		△ 66	
米州	646	15%		572	14%		583	14%		11	
自動車用ガラス事業	2,052	49%	63	2,173	51%	35	2,212	53%	35	39	0
欧州	838	20%		892	21%		919	22%		27	
アジア	383	9%		399	9%		393	9%		△ 7	
米州	831	20%		882	21%		900	21%		19	
高機能ガラス事業	199	5%	40	247	6%	39	216	5%	23	△ 31	△ 16
欧州	50	1%		52	1%		56	1%		5	
アジア	140	3%		186	4%		152	4%		△ 34	
米州	9	0%		10	0%		8	0%		△ 2	
その他	22	1%	△ 61	4	0%	△ 38	3	0%	△ 57	△ 2	△ 18
合計	4,202	100%	260	4,224	100%	102	4,208	100%	120	△ 17	18

建築用ガラス事業 (累計：減収・増益 7-9月期：減収・増益)

売上高は減少したが、営業利益は特に欧州において販売価格が改善したため、大幅に増加。
前年度に実施した生産停止に伴うコスト削減効果は引き続き寄与



(億円)	7-9月期 (3か月)			累計 (6か月)		
	2025年 3月期	2026年 3月期	差異	2025年 3月期	2026年 3月期	差異
売上高	898	884	△ 13	1,800	1,777	△ 23
欧州	309	346	36	654	686	32
アジア	303	239	△ 64	574	508	△ 66
米州	285	300	15	572	583	11
営業利益	33	52	18	67	118	52

欧州 (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

- 販売価格がドイツのフロート窯停止による需給改善に伴い上昇
(2024年6月に1基、2025年1月に1基停止)
- 販売構成も改善
- フロート窯停止に伴うコスト改善が継続

アジア (累計：減収・減益 7-9月期：減収・減益)

- 日本では販売数量/構成が低下
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は、米国関税政策等を踏まえた取引先の生産調整の影響により減少

米州 (累計：増収・減益 7-9月期：増収・増益)

- 北米は商業用不動産市場の需要軟化が継続するが、原燃材料費上昇分の価格転嫁により販売価格は改善
- 南米は主にアルゼンチンでの販売数量が増加
- 太陽電池パネル用ガラスの需要は堅調

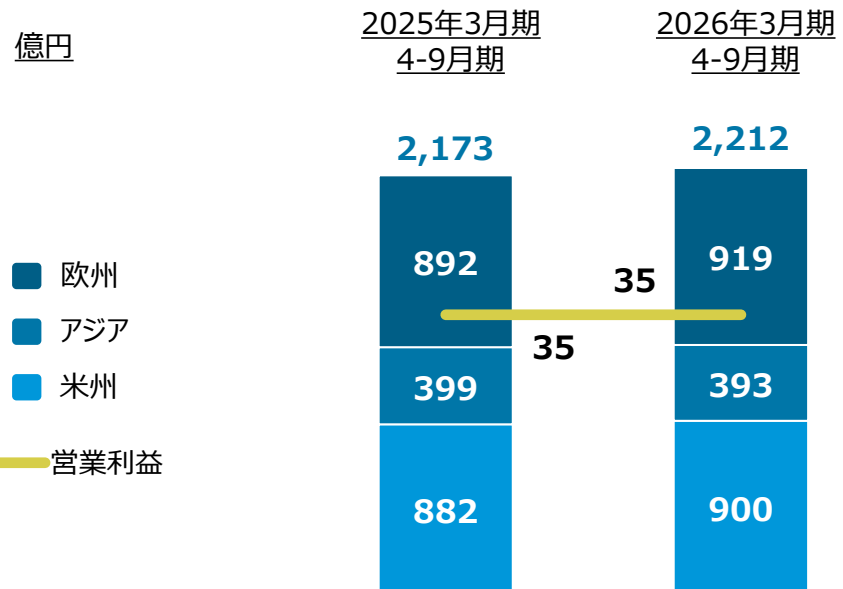
自動車用ガラス事業

(累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)



売上高はやや増加したものの、営業利益は横ばい。

販売数量は減少したが、補修用を中心に販売価格の改善が進展



欧州 (累計：増収・増益 7-9月期：増収・増益)

アジア (累計：減収・減益 7-9月期：減収・減益)

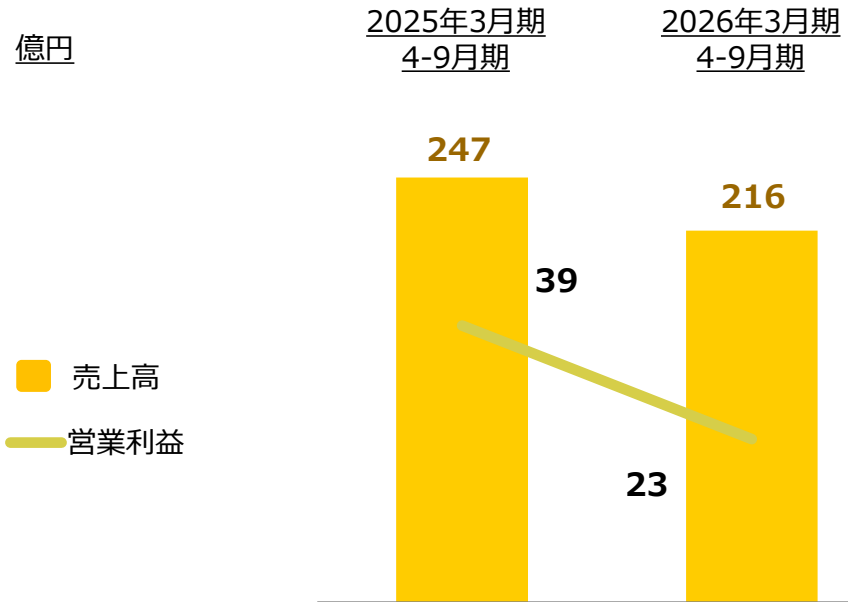
米州 (累計：増収・増益 7-9月期：増収・減益)

- 欧州の自動車販売台数は低水準だが、販売構成が改善
- 日本では新車用の販売数量および販売価格が伸び悩む
- 北米では補修用の販売価格が上昇したが、新車用の生産効率が一時的に低下。
南米では販売数量が増加
- ドイツ工場（2025年1月24日公表）、イタリア工場等欧州での生産体制見直しは計画通り進捗

(億円)	7-9月期 (3か月)			累計 (6か月)		
	2025年 3月期	2026年 3月期	差異	2025年 3月期	2026年 3月期	差異
売上高	1,037	1,114	77	2,173	2,212	39
欧州	416	458	42	892	919	27
アジア	204	199	△ 4	399	393	△ 7
米州	417	456	39	882	900	19
営業利益	10	11	2	35	35	0

高機能ガラス事業 (累計：減収・減益 7-9月期：減収・減益)

売上高および営業利益は、一部製品の販売構成の影響を受け減少



- ファインガラスは、一部製品の販売が下期にずれ込むことにより販売構成に影響
- プリンター用レンズは、プリンターおよびスキャナーに対する需要減少の影響を受ける
- グラスコードは補修用市場での堅調な需要が継続
- メタシャイン® は自動車用塗装向けが減少

(億円)	7-9月期 (3か月)			累計 (6か月)		
	2025年 3月期	2026年 3月期	差異	2025年 3月期	2026年 3月期	差異
売上高	123	106	△ 18	247	216	△ 31
営業利益	19	11	△ 8	39	23	△ 16

2. 2026年3月期 業績予想

2026年3月期 業績予想

通期業績予想は変更なし。
利益改善のためのあらゆる施策をグループ横断で実施

(億円)	2026年3月期 上期予想	2026年3月期 上期実績	2026年3月期 通期予想 (変更なし)	2025年3月期 通期実績 (参考)
売上高	4,200	4208	8,500	8,404
営業利益	100	120	310	165
個別開示項目 (純額)	10	△ 6	10	△ 52
個別開示項目後営業利益	110	114	320	112
金融費用 (純額)	△ 130	△ 135	△ 270	△ 253
持分法による投資利益	30	25	60	55
税引前利益 (△ 損失)	10	4	110	△ 85
当期利益 (△ 損失)	△ 20	△ 34	40	△ 135
純利益 (△ 損失)*	△ 30	△ 42	20	△ 138

*親会社の所有者に帰属する当期利益 (△ 損失)

2026年3月期 業績予想の前提

グループ	欧州市場は下期以降緩やかな改善を見込むが、米国関税政策の不確定要素もあり、グループ全体でのさらなるコスト削減等、利益改善に向けてあらゆる施策を実施 ● 主要通貨について2025年3月期より円高を見込む ● エネルギー価格や原材料価格は上昇、インフレによる人件費等その他コスト増加も継続 ● 米国関税政策の動向を注視 ● コスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善を継続
建築用ガラス	欧州市場は下期以降緩やかに改善。太陽電池パネル用ガラスについて米国関税政策の動向を注視 ● 欧州：フロート窯生産停止によるコスト削減と販売価格上昇が寄与 ● アジア：日本では建築需要の先行きに注意の一方で、販売価格改善を推進 ● 北米：不透明な経済見通しに伴い需要減少が継続する可能性。米国の関税政策を含む経済動向を注視 ● 南米：アルゼンチンで販売数量改善の兆し。超インフレに伴うコスト上昇を販売価格への転嫁で吸収 ● 太陽電池パネル用ガラス：米国では堅調な需要が継続する一方、アジアでは米国関税政策の動向を注視
自動車用ガラス	コスト増加の影響が続くが、販売価格改善交渉を継続。 米国関税政策による米国向け自動車生産に対する需要減少の影響の可能性 ● 米国関税政策による米国向け自動車生産に対する需要動向を注視の一方、競合の製品に対して高い税率が適用されることで米国補修用市場において比較的優位を維持 ● 欧州での生産体制見直しに伴うコスト削減が寄与 ● 北米での一時的な生産効率低下は解消に向けた対応策を実施 ● 引き続きコスト削減、高付加価値製品拡大、価格改善により収益性改善を目指す
高機能ガラス	多くの事業で需要は堅調に推移。コスト増加の影響を販売数量および販売価格の改善で吸収 ● 各事業で前年度に回復した需要が堅調に推移し、特に下期にファインガラスで製品構成が改善

3. 米国関税政策の影響

米国関税政策の影響

**ガラス製品は基本的には地産地消。一部事業および地域においてのみプラス・マイナスの影響あり。
先行きは依然不透明であり、引き続き政策動向を注視しつつ価格転嫁等により対応**

1. 売上高に対する影響

(1) 建築用ガラス事業

- 米国内では経済先行き不透明に伴う商業用不動産市場の投資控え、需要減少
- 太陽電池パネル用ガラスは、アジアで米国関税政策の動向を踏まえた取引先の生産調整の影響を受ける一方で、競合の中国製品に対する高い税率の適用もあり、米国では需要は堅調

(2) 自動車用ガラス事業

- 新車用
米国向けの自動車生産に対する需要減少の影響を受ける
- 補修用
高い税率が適用される競合の中国製品との関税額の差が販売価格上昇に寄与

2. コストに対する影響

- 特に北米において原燃材料コストが増加するが、価格転嫁により軽減

4. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」 の進捗状況

「2030 Vision : Shift the Phase」財務目標の進捗状況

欧州経済減速の影響を大きく受けた前年から回復傾向。

引き続き収益性の向上によりキャッシュ創出力を高め、財務基盤を改善することに注力

		2027年3月期 目標	2030年3月期 目標	2026年3月期（4-9月期） 実績
収益性（P/L）	営業利益	640億円		120億円：欧州建築用ガラス事業の改善により 前年同期比で増益
	営業利益率（ROS）	7%	10%以上	2.9%：前年同期比で0.5pt改善
▼				
キャッシュ創出（C/F）	フリー・キャッシュ・フロー	270億円		△196億円：運転資本の季節的変動により、マイナス
▼				
財務基盤の安定化 （B/S）	有利子負債	4,420億円		5,379億円：前期末から131億円増加
	自己資本比率	15%		10.4%：前期末から0.1pt低下。Q1から0.5pt改善

「2030 Vision : Shift the Phase」 4つの「D」の進捗状況

中期経営計画と4つの「D」に対するコミットメントは市場の低迷の影響を受けず不変。
事業環境の影響を受けにくい体質とすべくグループ全体の高付加価値化の推進を継続

1. Business Development

- ・ 省エネガラス向けコーティング設備の国内生産能力を増強（2025年6月16日公表）
 - ・ ポーランドに最新鋭の建築用ガラスコーティング設備投資を開始（2025年9月2日公表）
 - ・ 北米の自動車用拠点でAPBL（高精度プレス工法）の設備投資を開始
- ⇒需要が高まっている高付加価値製品への対応を加速

2. Decarbonization

- ・ 米国・オタワ事業所に太陽光発電システムを新設（2025年5月30日公表）
 - ・ 英国・グリーンゲート事業所に移設した型板ガラス製造ラインが稼働、窯を2ラインで共用（2025年7月11日公表）
- ⇒CO₂排出量削減に貢献

3. Digital Transformation

- ・ 映像解析AIを活用した職場安全管理システムを10か国の製造拠点に導入（2025年10月16日公表）

4. Diverse Talent

- ・ グループ全体の働きやすさ・競争力向上の一環として、従業員意識調査「Your Voice」を実施



5. まとめ

まとめ

1. 2026年3月期 第2四半期決算概要

- 欧州建築用ガラス事業の改善により、営業利益は上期業績予想を上回り着地。
引き続き利益改善のためのあらゆる施策を推進
- 主に欧州の建築用ガラス事業で、販売価格が改善。
人件費等コスト増加の影響を欧州のフロート窯停止も含めたコスト改善により軽減
- 自己資本比率は10.4%と前期末並み。
フリー・キャッシュ・フローは運転資本の季節的な変動によりマイナスだが、前年同期比で改善。第2四半期はプラス。
有利子負債は前期末比で若干増加

2. 2026年3月期 業績予想

- 通期業績予想は変更なし。
利益改善のためのあらゆる施策をグループ横断で実施

3. 米国関税政策の影響

- ガラス製品は基本的には地産地消。一部事業および地域においてのみプラス・マイナスの影響あり。
先行きは依然不透明であり、引き続き政策動向を注視しつつ価格転嫁等により対応

4. 中期経営計画「2030 Vision : Shift the Phase」の進捗状況

- 財務目標の進捗は、欧州経済減速の影響を大きく受けた前年から回復傾向。
引き続き収益性の向上によりキャッシュ創出力を高め、財務基盤を改善することに注力

当資料の業績見通しは、当社が現時点で入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提にもとづいており、実際の業績は見通しと異なる可能性があります。その要因の主なものとしては、主要市場の経済環境および競争環境、製品需給、為替・金利相場、原燃料市場環境、法規制の変動等がありますが、これらに限定されるものではありません。

日本板硝子株式会社

補足資料

- 連結損益計算書 四半期別推移
- 事業部門別・地域別業績 四半期別推移
- セグメント情報
- 地域別売上高および営業利益
- 個別開示項目
- 為替レート・為替感応度
- 減価償却費・資本的支出・研究開発費
- 主なニュースリリース

連結損益計算書

四半期別推移

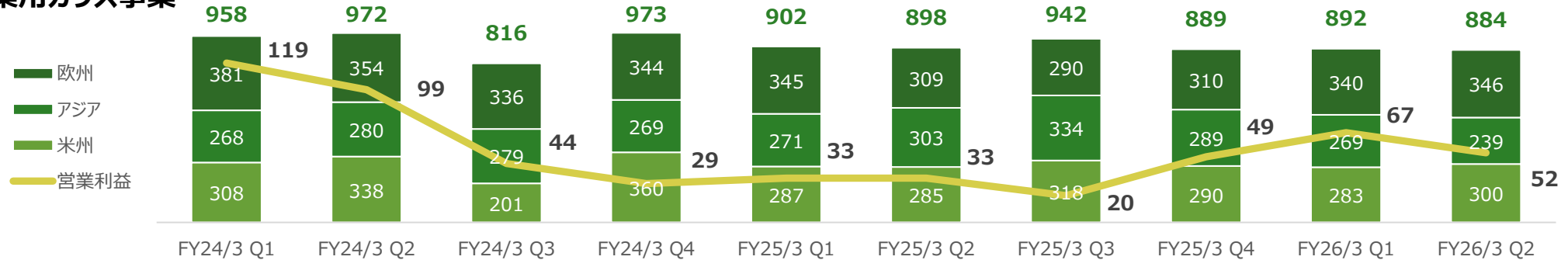


(億円)	2024年 3月期				2025年 3月期				2026年 3月期	
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	4-6月期	7-9月期
売上高	2,080	2,122	1,925	2,198	2,164	2,060	2,075	2,104	2,102	2,106
営業利益 (△損失)	146	115	61	38	48	55	6	57	69	51
営業利益率	7.0%	5.4%	3.2%	1.7%	2.2%	2.7%	0.3%	2.7%	3.3%	2.4%
個別開示項目 (その他)	△ 8	11	6	△ 8	2	△ 2	△ 25	△ 27	17	△ 22
個別開示項目後営業利益 (△損失)	138	125	67	29	49	53	△ 19	30	85	29
金融費用 (純額)	△ 64	△ 77	△ 64	△ 78	△ 60	△ 66	△ 56	△ 71	△ 68	△ 68
持分法適用会社に対する金融債権の減損損失の戻入益 (△損失)	37	-	-	-	-	-	-	-	-	-
持分法による投資利益	10	12	15	14	11	14	12	18	13	16
持分法投資に関するその他の利益 (△損失)	11	△ 0	△ 1	△ 0	-	-	-	-	△ 4	△ 0
税引前利益 (△損失)	133	61	17	△ 35	0	1	△ 64	△ 23	27	△ 23
当期利益 (△損失)	75	30	36	△ 32	27	△ 61	△ 59	△ 42	5	△ 38
純利益 (△損失)*	70	27	37	△ 29	24	△ 63	△ 62	△ 38	△ 2	△ 41
EBITDA	253	226	170	168	175	175	130	177	198	183

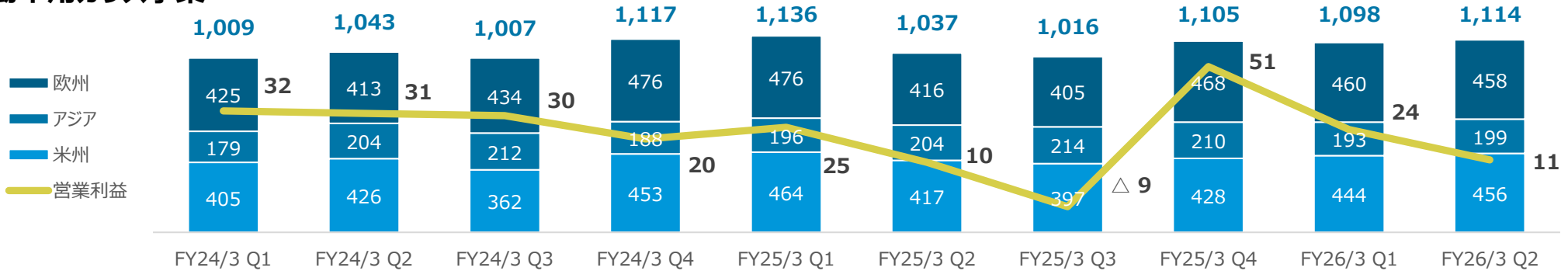
事業部門別・地域別売上高および営業利益 四半期別推移

単位：億円

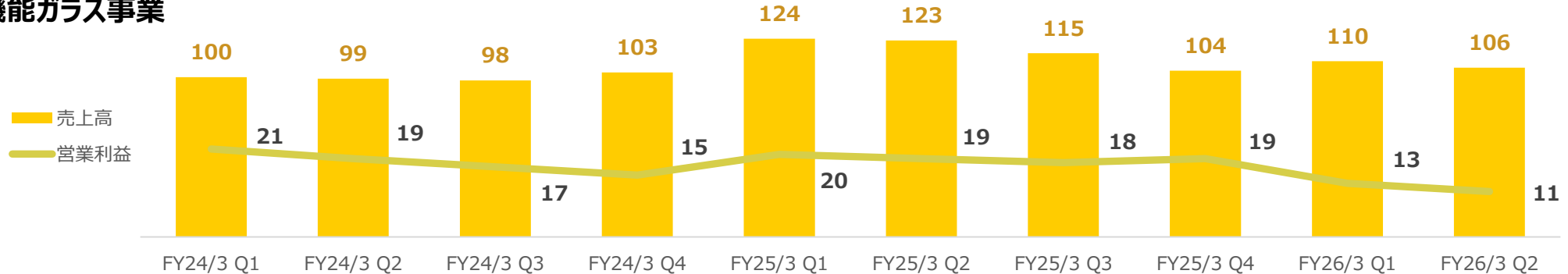
建築用ガラス事業



自動車用ガラス事業



高機能ガラス事業



セグメント情報

(億円)	2024年3月期					2025年3月期					2026年3月期		
	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	10-12月期	1-3月期	累計	4-6月期	7-9月期	累計
売上高: 建築用ガラス	958	972	816	973	3,718	902	898	942	889	3,630	892	884	1,777
欧州	381	354	336	344	1,415	345	309	290	310	1,254	340	346	686
アジア	268	280	279	269	1,096	271	303	334	289	1,197	269	239	508
米州	308	338	201	360	1,206	287	285	318	290	1,180	283	300	583
営業利益	119	99	44	29	291	33	33	20	49	136	67	52	118
売上高:自動車用ガラス	1,009	1,043	1,007	1,117	4,176	1,136	1,037	1,016	1,105	4,294	1,098	1,114	2,212
欧州	425	413	434	476	1,747	476	416	405	468	1,765	460	458	919
アジア	179	204	212	188	783	196	204	214	210	823	193	199	393
米州	405	426	362	453	1,645	464	417	397	428	1,707	444	456	900
営業利益	32	31	30	20	113	25	10	△ 9	51	77	24	11	35
売上高:高機能ガラス	100	99	98	103	399	124	123	115	104	466	110	106	216
欧州	25	26	26	30	106	28	23	23	28	102	29	27	56
アジア	71	69	67	69	275	91	95	89	72	347	77	75	152
米州	4	5	5	4	18	5	5	3	4	17	4	4	8
営業利益	21	19	17	15	71	20	19	18	19	76	13	11	23
売上高:その他	13	8	5	6	33	2	2	3	6	13	1	2	3
営業利益	△ 27	△ 34	△ 30	△ 26	△ 117	△ 31	△ 7	△ 23	△ 62	△ 123	△ 34	△ 22	△ 57
売上高:合計	2,080	2,122	1,925	2,198	8,325	2,164	2,060	2,075	2,104	8,404	2,102	2,106	4,208
営業利益	146	115	61	38	359	48	55	6	57	165	69	51	120

地域別売上高および営業利益

(億円)	2025年3月期 4-9月期			2026年3月期 4-9月期			増減	
	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	%	営業利益 (△損失)	売上高	営業利益 (△損失)
欧州	1,598	38%	△ 112	1,661	39%	△ 3	63	109
アジア	1,159	27%	171	1,053	25%	110	△ 106	△ 61
米州	1,463	35%	82	1,491	35%	69	28	△ 12
その他 *	4	0%	△ 38	3	0%	△ 57	△ 2	△ 18
合計	4,224	100%	102	4,208	100%	120	△ 17	18

* 「その他」セグメントの売上高、営業利益は地域別に区分していない。

個別開示項目

(億円)	2025年3月期 4-9月期	2026年3月期 4-9月期
子会社および事業の売却による収益	-	18
非流動資産の減損損失の戻入益	0	1
係争案件の解決に係る収益（△費用）純額	△ 0	△ 1
リストラクチャリング費用	△ 3	△ 2
その他包括利益計算書を通じて公正価値を測定する 金融資産の売却に伴うリサイクリング損失	-	△ 22
非流動資産の売却による収益	3	-
非流動資産の減損損失	△ 1	-
その他	△ 0	-
個別開示項目 純額	△ 0	△ 6

為替レート・為替感応度

期中平均レート

	2024年 3月期				2025年 3月期				2026年 3月期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
英ポンド	172	177	179	182	197	195	195	194	193	196
ユーロ	150	153	154	157	168	165	164	163	164	168
米ドル	138	140	143	144	156	152	152	152	145	146
ブラジル・リアル	27.7	28.6	29.0	29.4	29.9	28.3	27.5	27.1	25.5	26.3
アルゼンチン・ペソ	超インフレ会計の適用により、期末レートのみ使用									

2026年 3月期
見通し
191
159
143
26.5

期末レート

	2024年 3月期				2025年 3月期				2026年 3月期	
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
英ポンド	183	182	181	191	204	191	196	193	197	199
ユーロ	158	157	157	163	173	159	162	161	168	173
米ドル	145	148	143	152	162	143	157	148	144	149
ブラジル・リアル	29.8	29.5	29.2	30.4	29.3	26.2	25.3	25.9	26.2	27.8
アルゼンチン・ペソ	0.57	0.42	0.18	0.18	0.18	0.15	0.15	0.14	0.12	0.11

為替感応度

他の前提に変動がない条件で、
為替レートが他の通貨に対して
1%変動した場合の影響額

	2025年 3月期
資本	37.0億円
当期利益	1.0億円

減価償却費・資本的支出・研究開発費

(億円)	2025年3月期 4-9月期	2026年3月期 4-9月期	2026年3月期 通期見通し
減価償却費	248	261	520
資本的支出	210	161	440
通常投資	116	125	260
戦略投資	94	36	180
研究開発費	52	53	115
建築用ガラス事業	19	18	40
自動車用ガラス事業	15	16	34
高機能ガラス事業	4	5	11
その他	14	14	29

2025年5月～2025年11月 主なニュースリリース

発表日	ニュースリリース
2025年5月30日	米国・オタワ事業所に太陽光発電システムを新設
2025年 6月 9日	公益財団法人日本板硝子材料工学助成会 第47回研究助成金贈呈式の開催
2025年 6月 9日	ベトナムフロートガラス社の持分を譲渡
2025年6月16日	省エネガラス向けコーティング設備の国内生産能力を増強
2025年7月8日	ESG指数「FTSE Blossom Japan Index」および「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に継続選定
2025年7月11日	英国・グリーンゲート事業所に移設した型板ガラス製造ラインが稼働
2025年7月15日	ドイツ・ビッテン事業所が創設200周年の記念式典を開催
2025年7月23日	CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」において最高評価「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に4年連続で選定
2025年9月2日	ポーランドに最新鋭の建築用ガラスコーティング設備を新設
2025年9月12日	東京都より「LGBTフレンドリー宣言企業」に認定
2025年9月19日	ウクライナでのガラス製造ライン新設に向け、NovaSklo社と技術支援契約を締結
2025年10月10日	国内建築用板ガラス製品の価格改定について
2025年10月16日	AIを活用した職場安全管理システムを10か国の製造拠点に導入

NSG

GROUP